

# 日本地域福祉学会第35回大会（愛知大会）

## 開催要項

### 大会テーマ

地域福祉の実践・政策運営の質を高める研究活動のあり方を問う

### 大会趣旨

新型コロナウイルス感染予防のために第34回大会を中止せざるを得ず、「住民主体の理論と実践に立ち返る—地域福祉の政策化の時代における地域福祉の不可避性と可能性を探る—」という魅力的なテーマを深めることができませんでした。地域福祉の持つ不可避な理論枠組みを振り返る機会が失われたことは大変残念です。第35回では、前大会のこうした企図を、「地域福祉の研究活動」をテーマにすることで継承しようと判断しました。また、実践への還元だけでなく、政策運営への貢献を視野に入れることも受け継ぎます。

これまで地域福祉学会は、実践者と研究者との研究活動が化学反応を起こすことを重視してきました。しかし、学会設立当時の研究のうねりと比較すると、必要性が高くなっているにも関わらず、徐々に機運は低下しているのかもしれない。実践が先行する地域福祉であるのは当然ですが、近年の国の政策化が地域福祉の内容を設定する傾向を強めるなかで、研究活動の先導性への期待は高まっています。ただ、研究活動が国の政策化の後追いになってしまっているのは、先導性を発揮することはできないのです。

2020年の社会福祉法改正、さらにはコロナ禍への対応など、地域福祉の大きな転換点を受け止める研究活動の飛躍を学会は担う必要があります。本大会では、地域福祉の研究活動のあり方を焦点に、これまでの理論上の変遷も踏まえつつ、地域福祉の実践・政策運営の質への貢献を果たすための方法を検討します。

越境領域としての地域福祉において、学際的な研究活動への対応を含め、地域福祉研究の多様な守備範囲をどう担うのか。政策運営を担う自治体行政担当者の参加をどのように組織するのか。分担された研究成果を地域福祉学としてどう総合化するのか。2つのシンポジウムを通して問題提起し、参加者とともに深めます。

2つのシンポジウムに焦点化した背景には、第35回大会においても新型コロナウイルス感染予防への対策が求められ、オンライン開催をも視野に入れたシンプルな企画とすることが影響しています。基調講演や開催校企画などの開催を見送ることを余儀なくされました。そのような状況にあって、「コロナ禍で地域福祉は」を緊急企画として採用し、地域福祉実践の真骨頂を共有できる機会を確保しました。

第40回の記念大会にむけての5年間を展望できる節目の第35回大会となるよう、充実した大会運営を目指します。

期 日： 2021年6月12日（土）～13日（日）

東海市芸術劇場—日本福祉大学東海キャンパス

会 場： オンライン（Zoom） ※参集が困難な場合には、オンライン（zoom）で開催します。

主 催：日本地域福祉学会、日本地域福祉学会第35回大会実行委員会

共 催（案） 日本福祉大学 愛知県社会福祉協議会 名古屋市社会福祉協議会 東海市  
東海市社会福祉協議会

後 援： 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 社会福祉法人むそう  
南医療生活協同組合

# 1 スケジュール ※オンライン (zoom) の場合も同様のスケジュールで実施します。

【1日目】 6月12日 (土) 【会場】 オンライン (Zoom)

9:30 10:30 11:00 12:40 13:30 16:00 16:15 17:15

受付	開 会 式	シンポジウムI	昼 食	シンポジウムII	休 憩	総 会
----	-------------	---------	--------	----------	--------	--------

【2日目】 6月13日 (日) 【会場】 オンライン (Zoom)

8:30 9:00 11:00 12:00 12:30 13:30 15:30 16:00 16:15

受付	自由研究発表 I (口頭)		昼 食	自由研究発表 II (口頭)		閉 会 式
	地域福祉 優秀実践賞 授賞式・報告 9:00~ 11:00	日韓学術 交流企画 11:00~ 12:30		地方 部 会 総 会	緊急企画 13:30~15:30	

※ 自由研究発表者の人数により、「閉会式」時刻が変更になる可能性があります。

※ 「地域福祉優秀実践賞報告」は、受賞団体数により開始時刻が変更になる可能性があります。

## 2 プログラム内容

### シンポジウムI 6月12日 (土) 11:00~12:40

#### □ テーマ 「地域福祉、地域福祉研究への課題と期待」

地域福祉をめぐる状況は実践的にも、政策的にも大きく変化している。社会的孤立や制度の狭間の問題が顕在化し、戦後の分野別の社会福祉制度のあり方が問われている。地域福祉で大切にしてきた住民主体、自治体の包括ケアや地域福祉計画の重要性が認識されてきた。一方で、従来の地縁をもとにした地域福祉のあり方も問われている。少子高齢・人口減少、家族の機能や雇用形態が大きく変化しているなかで、地域の新しいニーズが生じている。このシンポジウムでは、今日的な変化を踏まえ、地域福祉実践や研究活動への課題や期待について、多面的な視点から問題提起を行う。

シンポジスト： 岩崎晋也氏 (法政大学 元日本学会議会員)

奥田知志氏 (NPO 法人抱樸 理事長)

古都賢一氏 (全国社会福祉協議会 副会長)

コーディネーター： 原田正樹氏 (日本地域福祉学会会長)

## シンポジウムⅡ 6月12日(土) 13:30~16:00

### □ テーマ 「地域福祉研究の変遷と展開」

シンポジウムⅠでの問題提起を踏まえながら、「地域福祉研究」の今日的な論点を、歴史や現状を勘案し討論する。これまでの地域福祉理論の継承と発展を問いつつ、その際、地域福祉の政策化の動向、地域福祉実践の拡がり、地域福祉学会としての「学」の体系化の諸課題などについて、テーマ別にシンポジストが討論する。

シンポジスト： 平野隆之氏（日本福祉大学）  
宮城孝氏（法政大学）  
妻鹿ふみ子氏（東海大学）  
コーディネーター： 永田祐氏（日本地域福祉学会副会長）

## 日韓学術交流企画 6月13日(日) 11:00~12:30

### □ テーマ 「コロナ禍での地域福祉」

コロナ禍での韓国の地域福祉の現状を、政策及び実践の観点から報告する。

報告者： コ・エジョン氏（韓国健康保険研究院）  
イム・ウヒョン氏（ヨンジン・サイバー大 学校）  
コーディネーター： 李永喜氏（川崎医療福祉大学）

## 緊急企画 6月13日(日) 13:30~15:30

### □ テーマ 「コロナ禍で地域福祉は」

2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大のなかで、地域福祉活動はどのような取り組みを行い、如何なる課題が顕在化したのか。

感染防止の観点からは「隔離」や距離をとることが推奨され、一方で経済的な観点からは経済活動の回復と困窮者への支援が行われた。そのなかで地域住民による地域福祉活動は「後回し」にされる傾向があるなかで、「つながり」を大切にする新たな活動も生まれてきた。そうしたWith コロナに向けた地域福祉の取り組みを整理することで、活動の着目点やこれからの活動支援について考える。

シンポジスト：  
神田すみれ氏（愛知県立大学多文化共生研究所客員研究員／多文化ソーシャルワーカー）  
前山憲一氏（半田市社会福祉協議会）  
水鳥美雪氏（名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター大曾根 センター長）  
コメンテーター：小野達也氏（桃山学院大学）  
コーディネーター：朝倉美江氏（金城学院大学）

### 3 自由研究発表申し込み

1. 申込方法： 大会専用ホームページからお申し込みください。
2. 発表申込： 発表申し込み締め切り **2021年3月26日(金) 23時59分締切**  
申し込みには、演題と要旨集レジュメの登録が必要になります。原稿は下に説明する「自由研究発表の原稿様式」に基づき作成してください。原稿は①研究目的、②研究の方法、③倫理的配慮、④結果・考察という基本的な枠組みを示して執筆してください。結果・考察について「当日資料共有」という未完成原稿は認められません。
- 自由研究発表の原稿様式（フォーマット例は6ページ参照）
- ① 1発表につき A4 縦1枚（横書き）
  - ② 余白上下25mm 左右20mm
  - ③ 文字数 1ページ 40字×40字
  - ④ フォント  
主 題：12ポイント MSゴシック・中央揃  
副 題：10.5ポイント MSゴシック・中央揃  
氏 名：10.5ポイントMS明朝  
所 属：会員番号：9ポイントMS明朝  
見出し：11ポイント MSゴシック  
本 文：10.5ポイント MS明朝（だ・である調で記入）
- ⑤ 記述内容： 1. 研究目的、2. 研究の方法、3. 倫理的配慮、4. 結果・考察
3. 要旨書式： 要旨集レジュメの様式は、大会用ホームページからダウンロードできます。必ず所定の書式に従って提出してください。
4. 発表資格： 日本地域福祉学会員であることが条件です。なお、以下についてのルールが守れないと発表資格が無いと判断されることがありますのでご注意ください。①発表者は、**2021年3月末現在、日本地域福祉学会の会員として理事会で承認されていること**（3月末までに新入会が認められた場合、4月末までに入会金、会費を支払うこと）が前提です。②発表の**要旨集レジュメに、必ず会員番号をご記入ください**。共同研究報告で1名でも会員番号の記載が無ければ発表要旨の受理が出来ません。（入会申請中の場合は、入会申請中と記入してください。入会が認められ次第、会員番号をお知らせしますので、後日会員番号の記入をお願いします）。③発表の申し込みをした会員は **2021年5月28日(金)2021年5月31日(月)** までに大会参加費をお支払いください。④2020年度分までの学会費は事前に必ず納入しておいてください。
5. 発表件数： 筆頭発表者（ファースト・オーサー）は1演題に限ります。したがって、演題の申し込みは必ず筆頭発表者が行ってください。演題の申込者と筆頭発表者が異なる場合は受理できません。なお、筆頭発表者は発表とは別に、他の研究発表等で共同研究者として名前を連ねることは可能です。
6. 要旨確認： **倫理的配慮の観点から**原稿の修正等を求めることがあります。修正を求められた場合には、修正コメントに基づいて指定した期日までに再提出をしてください。再提出がされない場合には、発表を受け付けられません。
7. 分科会： 自由研究発表（口頭）を申し込まれる場合には、希望する分科会を次のリストの中からお選びください。

第1分科会	理論・歴史 地域福祉に関する理論・歴史
第2分科会	制度・政策、権利擁護 地域福祉に関する諸制度、政策、成年後見等の権利擁護等
第3分科会	主体・提供組織 行政、社協、ボランティア・NPO、住民組織、社会起業等
第4分科会	対象・対象者 高齢者、障害者、児童、生活困窮者、外国人等
第5分科会	地域福祉（活動）計画、運営管理 地域福祉計画、地域福祉活動計画、運営管理、評価等
第6分科会	地域福祉の諸活動 小地域福祉活動、見守り活動、サロン・居場所づくり活動等
第7分科会	地域福祉の方法 ケアマネジメント、ネットワーク、コミュニティソーシャルワーク等
第8分科会	福祉教育・福祉文化 学校教育、社会教育、ボランティア学習等
第9分科会	社会福祉施設・社会福祉法人 社会福祉施設、社会福祉法人による地域における公益的な取組等
第10分科会	災害と地域福祉 災害時要配慮者支援、福祉避難所支援、災害ボランティア支援、コロナ禍への対応等

## 4 発表方法

- 1 発表時間： 1発表につき25分（発表15分、質疑10分）となります。
- 2 発表方法： 発表方法は、口頭のみです。今大会では、ポスター発表はありません。  
※パワーポイント等の映写目的のプロジェクター及びその他の視聴覚機器の使用はできません。 あらかじめご了承ください。
- ~~3 配布資料： 当日の配布資料がある発表者は、50部を目安に当日持参してください。大会事務局では、印刷・コピー業務は対応できませんのでご注意ください。また配布資料の作成については、日本地域福祉学会の「研究倫理指針」を十分確認してください。~~
- ~~4 資料配布： 当日配布資料は、発表開始15分前までに会場の係員にお渡しください。資料は、発表の直前に係員より会場の参加者に配布されます。~~
- 5 オンライン開催の場合 zoomの画面共有機能により画面を共有しつつ発表を行っていただきます。  
当日配付資料は、発表する際に画面共有を行い、発表してください。  
分科会の進行、発表時間等は、参集型の場合と同様の方法で行います。

# 自由研究発表 様式見本 (A4 サイズ)

25mm

(\*1 行空白)

主題:12pt MSゴシック・中央揃  
— 副題:10.5pt MSゴシック・中央揃 —

氏名 10.5pt MS明朝 (所属・会員番号 9pt MS明朝)  
○福祉 太郎 (□□大学・会員番号)、福祉 花子 (△△大学・会員番号)  
\*共同研究の場合は、筆頭報告者の氏名に○印をつける。

20mm

20mm

1. 研究目的 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)
  
2. 研究の方法 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)
  
3. 倫理的配慮 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)
  
4. 結果・考察 (見出し 11pt MSゴシック、本文 10.5pt MS明朝)

25mm



## 5 自由研究発表チェックリスト

### 日本地域福祉学会自由研究発表エントリーチェックリスト

会員番号		氏名	
------	--	----	--

以下の内容に間違いがないことを確認した上で、研究倫理に配慮した報告を行います。

No.	チェック項目	チェック欄
1	発表要旨が指定の書式（文字の大きさ・字体・余白等）で作成されている。	
2	研究の目的・方法・倫理的配慮・結果・考察が記載されている。	
3	共同研究の場合、筆頭報告者に○印がついている。	
4	共同研究の場合、全員が学会員である（入会申請済でも可）	
5	当事者あるいは責任ある立場の者から研究協力の同意を得ている。	
6	当事者あるいは責任ある立場の者から学会報告の承諾を得ている。	
7	文献や資料を引用している場合、出典が明記されている。	
8	差別的表現や社会的に不適切な用語が使用されていない。	
9	発表内容は他の学会での発表と多重報告ではない。	
10	当日配付予定の資料や掲示物等においても研究倫理に配慮する（発表時に再確認する）。	
11	倫理的配慮の内容を発表要旨に記載しきれない場合、以下に記載してください。	
12	その他、発表に関して特記事項がある場合、以下に記載してください。	

## 6 大会参加申し込み

1 申込方法： 大会専用ホームページからお申し込みください。受付業務は株式会社コムラに委託しております。なお、~~託児や~~手話通訳等をご希望の方は、大会専用ホームページで詳細をご確認の上、お申し込みください。

2 申込期間： 事前申込締め切り 2021年5月21日（金） 23時59分締切

~~2021年5月28日（金） 締切~~

入金締め切り

2021年5月31日（月） 締切

3 参加費： 会員 事前申込 8,000円  
非会員 事前申込 9,000円  
~~会員・非会員 当日申込 10,000円~~  
大学院生 4,000円  
学部学生 1,000円

※申込み後の返金には一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。

※オンライン開催となった場合には、当日受付はありません。

4 その他

1) 情報交換会は実施しません。

~~2) お弁当の予約販売はありません。会場周辺の飲食店、コンビニなどをご利用ください。~~

~~3) 宿泊及び交通機関は、各自で手配してください。~~

## 7 問い合わせ先

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田

日本地域福祉学会第35回大会 事務局 日本福祉大学 小松・添田・末永

E-Mail : chiiki-gdai35kaitaikaijimukyoku@ml.n-fukushi.ac.jp

【大会事務局専用メールアドレス】